

防災メモ

震災に備えて シリーズ①

この度の震災により、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

市民の皆様が、各家庭、各地域で防災対策について考え、実行する上での一助となるように、防災のための情報をシリーズでお知らせします。

今月は、被災後の生活のために準備しておきたいもの(災害用備蓄品)についてお知らせします。

非常食は最低3日分

災害時に備えておくものは、家族構成を考慮して必要数をそろえ、保管しておきましょう。大規模災害の発生直後は、ライフラインの損壊等により、救援物資がすぐには届かないことも考えられます。発災から最低3日分の非常食及び飲料水を準備しておく必要があります。

問い合わせ先

生活安全課 ☎40-5555

被災後の生活のために準備しておきたいもの(災害用備蓄品)

●食料

缶詰、レトルト食品、カップ麺、栄養補助食品など、非常食三日分を含め、七日分を目安に確保しておく。



●水

一人1日当たり3リットルを目安に、三日分の備蓄を。ペットボトル、ポリタンクへの汲み水のほか、風呂桶への貯水を習慣づけることも大切。



●カセットコンロなど

予備ボンベも忘れずに。野外バーベキュー用品(木炭・圓形燃料もあわせて備蓄)も便利。



●消火・救助用品

消火器、のこぎり、スコップ、バール、車のジャッキなど。



●その他

- ・ホイッスル
- ・予備の眼鏡・補聴器
- ・ビニールシート
- ・ビニールラップ
- ・新聞紙
- ・携帯トイレ
- ・使い捨てカイロ
- ・裁縫セット
- ・ガムテープ
- ・地図
- ・さらし
- ・筆記用具(マジックなど)など

水道課から節水のお願

●洗面・手洗いのとき

水を3分間流したままで洗うと約36リットルの水を使います。蛇口を閉めながら洗えば節水になります。

●歯磨きのとき

水を1分間流したままで歯を磨くと約12リットルの水を使います。コップを使い節水しましょう。

●食器洗いのとき

水を流したままで洗うより、桶等に水を貯めて洗うと節水になります。また、蛇口を全開よりも半開で使うことにより節水になります。

●お風呂のとき

シャワーを15分間出したままにすると約180リットルの水を使い、浴槽1杯分の水量になります。短時間でのシャワーの使用をお願いします。

お風呂の残り湯は洗濯、まき水に再利用し節水しましょう。

●洗車のとき

ホースで水を20分流したままにすると約240リットルの水を使います。バケツに水を汲んで洗えば約30リットル程度で済みます。

水道メーターの交換について

水道メーターは計量法により8年ごとに交換する必要があります。

メーター交換には市が依頼した指定工事店が直接伺い交換作業を行います。作業員には名札の掲示を義務付けています。

該当する方には、市よりお知らせが郵送されますのでご協力をお願いします。なお、メーター交換は無料です。

●作業期間

7月1日(金)から
平成24年1月31日(火)まで

閉栓・開栓についてのお願

引越等による閉栓・開栓のお申し込みは、4〜5日前までにご連絡ください。

また、使用者や所有者の名義が変更になった場合は、至急届け出てください。

※受付時間 午前8時30分〜午後5時15分(土日祝祭日を除く)